

個別避難計画の優先度付けについて

令和4年1月19日
茨城県常総市

常総市の個別計画作成促進方策

作成対象者の
絞り込み

- Ⅰ 浸水想定深0.5m以下の方
- Ⅰ 名簿掲載理由が「高齢者世帯」だけの方を除いて作成対象を絞り込む

優先度の設定

- Ⅰ 「浸水想定深」×「身体的な避難困難度」で個人の優先度を設定
- Ⅰ 「地区ごとに重みづけした要支援者数」と「自主防災組織の結成率」で地区別優先度を設定

リーダー研修会
の開催

- Ⅰ 地区別WSを開催できる人材の育成

地区別WSの開催

- Ⅰ 民生委員やケアマネと一緒に個別計画作成

作成対象者の絞り込み

常総市での 名簿掲載の定義

在宅で、かつ①～⑥のいずれかに該当する人

- ①身体障害者手帳の1級・2級
- ②療育手帳（知的障害）の○A、A
- ③精神障害者保健福祉手帳の1級
- ④要介護の区分が要介護2~5
- ⑤65歳以上の高齢者のみで構成する世帯に属する者
- ⑥ほか、市長が認めるもの

浸水想定0.5m以下は対象外

定義⑤のみに該当する方は対象外



常総市はモデル事業中（5か年）に2317人の個別計画策定を目標

個人別の優先度設定 | 基準

避難困難度での優先度

障害者手帳・要介護度により異なる分類を行った

障害者手帳の種類と等級による分類

療育 ○A	療育 A	精神 1級	身体 1級 一種	身体 1級 二種	身体 2級 一種	身体 2級 二種
AA	AA	AA	AA	A	AA	A

要介護度2~5の優先度の分類

介護保険制度の 認定調査票から		寝たきり度		
		自立・ J1・J2	A1・ A2	B1・B2・ C1・C2
認知度	自立・I	C	C	AA
	II a・II b	B	B	AA
	III a・III b ・IV・M	A	A	AA

浸水想定深での優先度

ハザードマップと住所の重なりから3段階に分類

- I 0.5m~3.0m
- II 3.0m~5.0m
- III 5.0m~10.0m

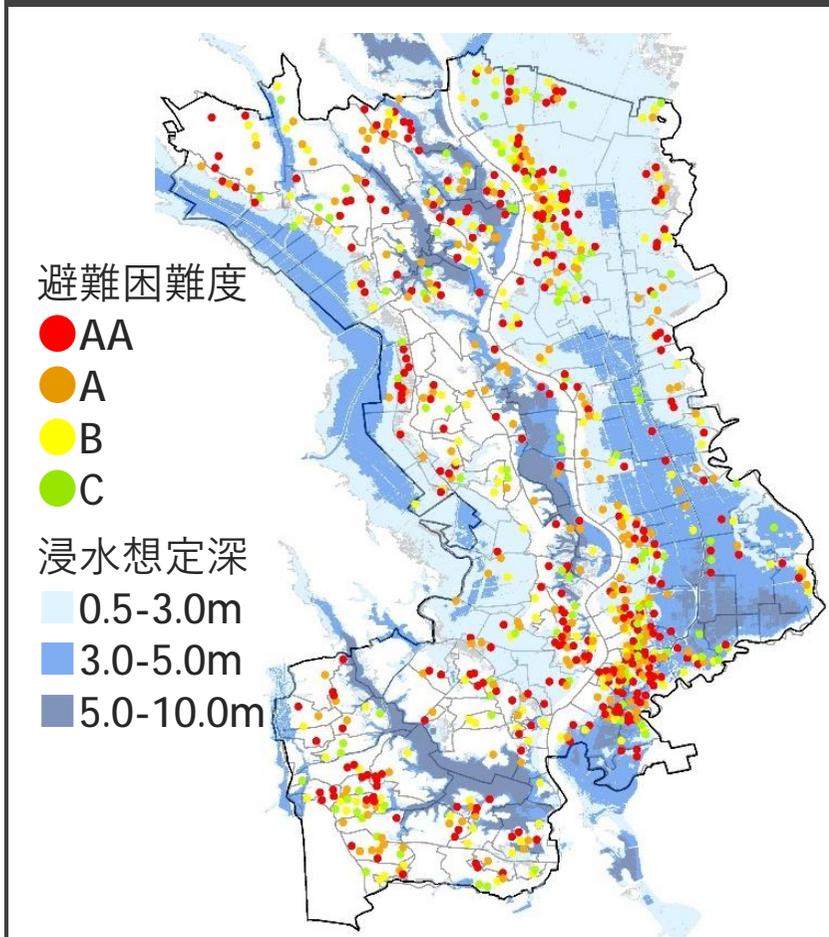
個人別優先度ランクを決定

		避難困難度			
		AA	A	B	C
浸水 想定 深	5.0~10.0m	1	2	3	4
	3.0~5.0m	2	3	4	5
	0.5~3.0m	3	4	5	6

個人別の優先度設定

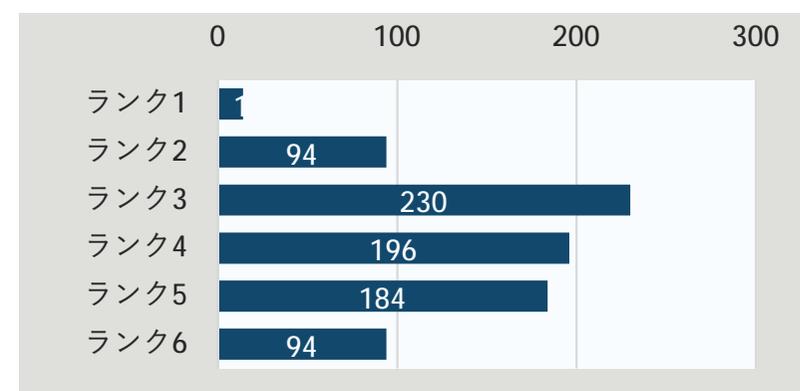
結果

常総市全域の要支援者



ランクごとの要支援者数

		避難困難度				総計
		AA	A	B	C	
浸水想定深	5.0-10.0m	14	9	11	7	41
	3.0-5.0m	85	59	60	41	245
	0.5-3.0m	160	129	143	94	526
	総計	259	197	214	142	812



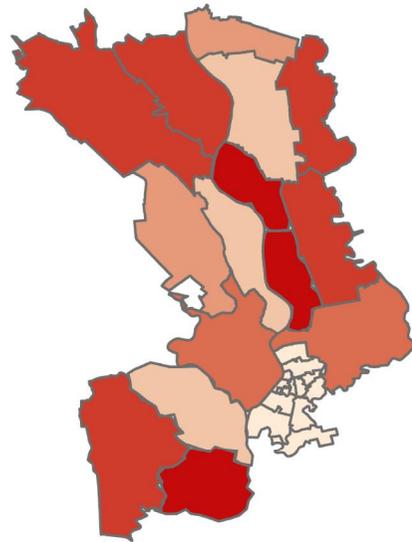
地区別の優先度設定

基準

自主防災組織の結成率

自主防災組織結成
ロードマップより
令和3年度～8年度

- R3年度
- R4年度
- R5年度
- R6年度
- R7年度
- R8年度

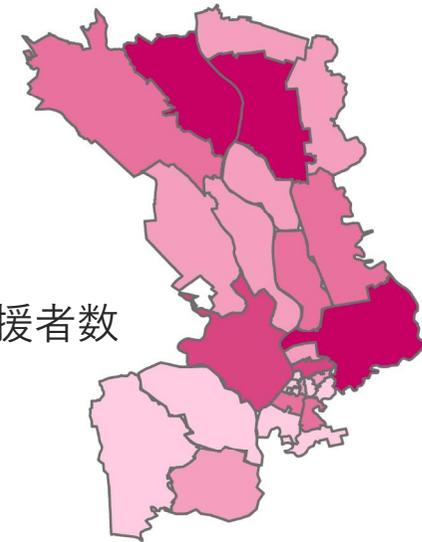


個人別優先度による重みづけ

「ランク1×6
+ランク2×5+...
+ランク6×1」
の式で重みづけ

重みづけ後の要支援者数

- 0~50人
- 50~100人
- 100~150人
- 150~200人
- 200人~

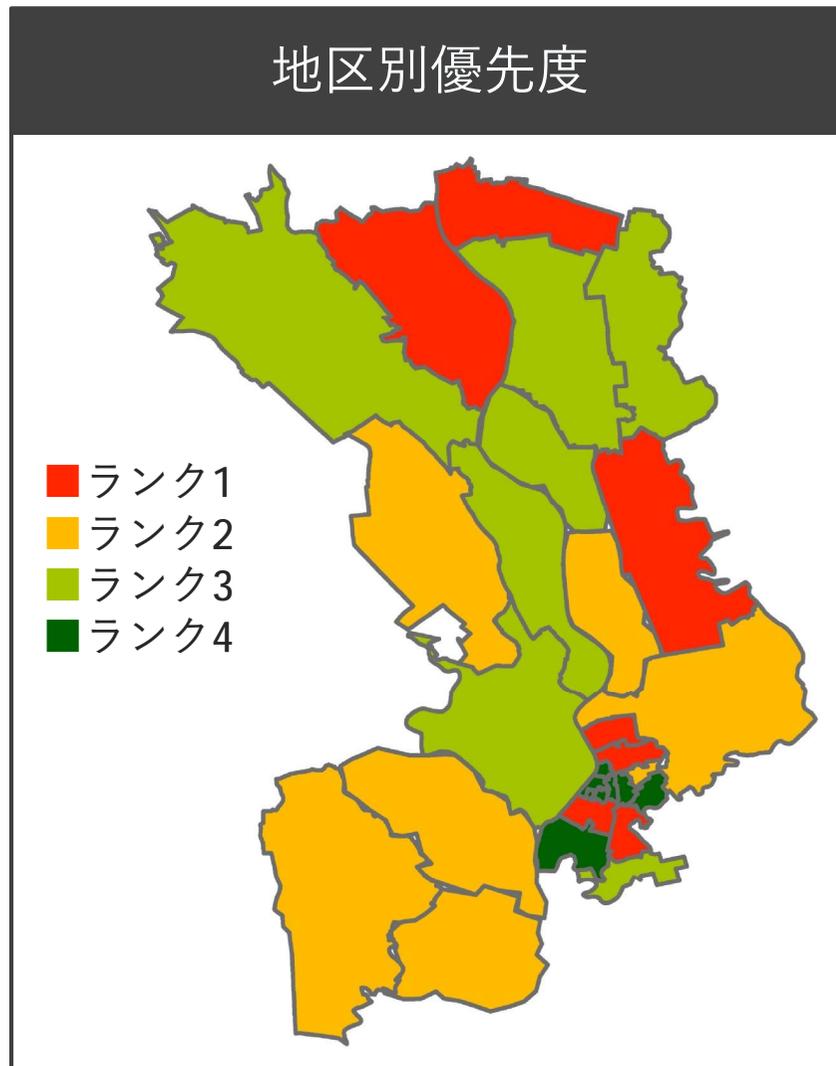


- ┃ 自主防災組織結成地区
- ┃ 重みづけ後の要支援者数の多いところ

地区別WS開催の
優先度が高い

地区別の優先度設定

結果



ランク1	水海道天満町 水海道橋本町 水海道森下町 水海道山田町	玉小学校区 岡田小学校区 飯沼小学校区
ランク2	水海道諏訪町 中妻地区 三坂地区 五箇小学校区	内守谷地区 菅生小学校区 豊田小学校区
ランク3	水海道川又町 豊岡小学校区 菅原小学校区 大花羽小学校区	大生小学校区 坂手地区 石下小学校区
ランク4	水海道高野町 水海道亀岡町 水海道本町 水海道元町	水海道栄町 水海道宝町 水海道淵頭町

優先度付けの評価 | 概要



対象	個別避難計画作成モデル事業に参加の市町村（32市町村）
回収期間	2021年12月10日～12月28日
回答数	29市町村（回収率 90.6%）

アンケートの設問

Ⅰ 優先度付けに至った動機。
（概説）どのような優先度付けを、
常総市では検討しているのか。

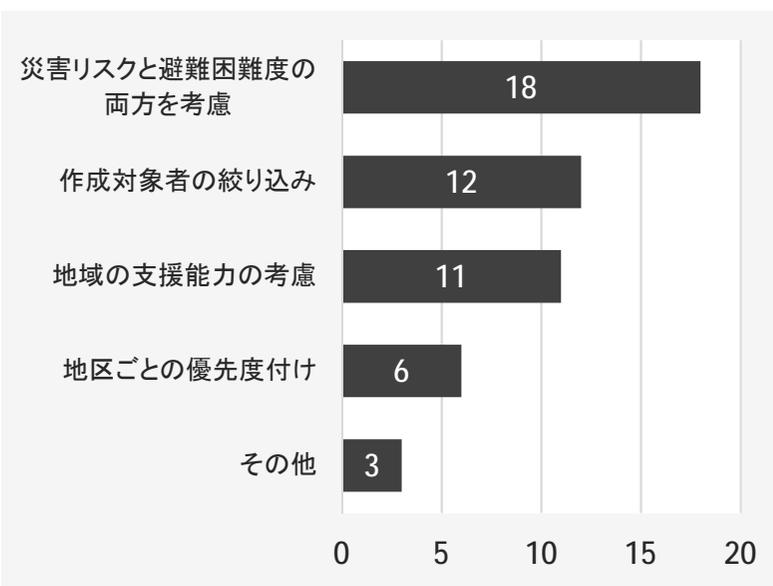
Ⅱ 常総市の優先度付け手順の導入は、
「必要」だと思うか(+理由)。

優先度付けの評価 | 結果

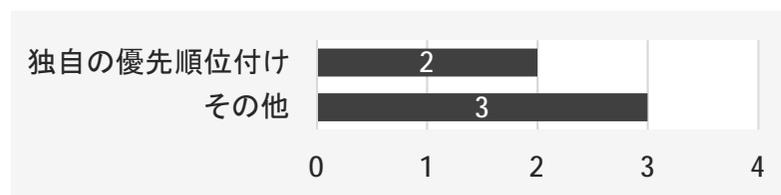
常総市のような優先順位づけの手順を貴自治体でも参考にする必要があると思いますか



「思う」と回答した理由 ※複数選択可



「思わない」と回答した理由



その他内訳 (抜粋)

- | さらに詳細なデータを用いた分類が必要
- | 地震時も考慮
- | 避難時の行動について、本人・家族・ケアマネに共に考えてもらうよう依頼している
- | 災害や避難の備えについて要支援者の意識を高めることが大切
- | 防災部局には、介護度・障害者手帳の等級は必要な情報ではない

これまでに感じていること

名簿情報 管理と活用

- 情報の劣化(年2回更新)
- 情報の共有(計画に直結)

日頃の 関わり

- 福祉専門職の情報活用
- 地域の協力必須

理解促進の 必要性

- リーダー育成
- 作成会の本数増

避難行動要支援者
マニュアル改定

逃げ遅れゼロを目指して



ご清聴ありがとうございました



常総市のマスコットキャラクター「千姫ちゃま」と豊田城